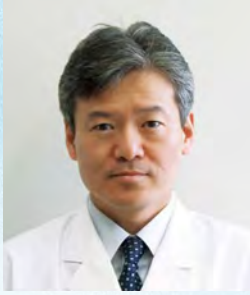
2013
Vol.7

九大別府病院だより

Kyushu University
Beppu Hospital

❷ 病院長就任の挨拶
❸ 内科教授就任の挨拶
❹ 総看護師長就任の挨拶
❺ 新任医療職員の紹介
❻ 牧野前病院長退職の挨拶
❼ 病院機能評価Ver.6.0の認定
❽ 電子カルテ導入＆
ゆけむりネット導入
駐車場の整備

九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital



あきらめていた笑顔を とりもどす大学病院をめざして

九州大学病院
別府病院長（外科教授）　三森　功士

当院は昭和6年より九州帝国大学温泉治療学研究所附属病院として発足し、以来「温研」の愛称で別府市民の皆さんに親しまれて参りました。平成23年に現在の九州大学病院別府病院として再出発いたしまして、本年1月から電子カルテシステムに完全移行しました。また、本年2月には日本医療機能評価機構より病院機能評価Ver.6.0の認定をいただき、ますます医療の質・サービスの向上に努めて参りたいと存じます。

当院の果たす役割は次の三つです。1）古くから地域に根ざし住民の皆さんに親しまれている身近な病院としての役割。2）最新の知識・技術・機器を擁して難治性疾患あるいは高度進行病変の診療にあたる大学病院としての役割。3）当院にない専門的疾患あるいは臓器移植など最高難度の疾患に対しては九州大学本院への窓口の役割であり、本院の各診療科へわれわれが直接ご紹介をしております。

平成25年4月現在、内科（リウマチ膠原病、循環器、内分泌・糖尿病、血液、骨粗鬆症、老年病など）、外科（消化器がん、乳がん、高齢者特有疾患など）、整形外科（脊椎疾患）、放射線科（画像診断、放射線治療）、麻酔科の5科で診療を行っております。

特に、「悪性腫瘍」「内科疾患（内分泌・糖尿病・膠原病）」「脊椎疾患」という難治性が問題となる３疾病を主な治療対象と位置づけているだけに、完治が困難な症例もございます。この様な苦しみをもつ患者さんに対して、われわれは家族の様な深い愛情と情熱を根底に、専門的知識と最先端の機器を駆使して診療にあたっています。「難治」を理由にあきらめていた笑顔を少しでも取り戻すことができるように一生懸命頑張りたいと思います。

また、大学病院は教育の場でもあります。患者さん・ご家族に対して病む人の立場と気持ちを理解し共感する臨床医・看護師を育てたいと考えております。地域の先生方にとりましても困ったときに役にたつ病院でありたいと考えています。例えるならば、「患者さん・ご家族への溢れる情熱は別府地獄よりも熱く、黙っていても人が集まり温かく迎える別府温泉の様な、すばらしい医療人および病院」に育成したいと考えております。

「自分あるいは自分の家族が病気になったら、かかりたい病院」を合い言葉に職員一同、一丸となって頑張りますので、よろしくお願いします。

診療科長就任のご挨拶

内科診療科長　　堀内　孝彦

平成25年6月1日付けで、九州大学病院別府病院内科診療科長を拝命いたしました堀内孝彦（ほりうちたかひこ）でございます。九州大学病院免疫・膠原病・感染症内科から参りました。歴史と伝統のある九州大学病院別府病院の一員にしていただきましたことをたいへん嬉しくまた誇りに思います。

免疫・血液・代謝内科と循環・呼吸・老年病内科がこのたび一つになって内科として新しい歩みを始めることになりました。前教授　牧野直樹先生をはじめ医局の先生方、同門の先生方、別府市在住の諸先生方のお力をぜひともお借りして、内科のさらなる発展を目指したいと思います。どうかよろしくお願いいたします。

思い返しますと30年ほど前、九州大学医学部の学生時代に、私と友人3人で九州大学温泉治療学研究所気候内科（当時）に夏休みの研修を希望しました。矢永尚士教授（当時）は快く受け入れてくださり、医局の先生方には熱心にご指導を賜りました。たいへん楽しい思い出です。その節は誠にありがとうございました。愛媛県松山市出身の私にとりましては、別府はフェリーで簡単に来ることができる近い存在でした。高崎山のサルにズボンのポケットのお菓子を取られたのは小学生の時でした。ラクテンチのアヒルの競争は今でも鮮明に覚えています。修学旅行や医局旅行、家族旅行で何回も訪れた別府にはたくさんの思い出があります。

今後の内科の方針として、今まで当院内科が担ってきた分野をさらに充実させていきたいと思います。とくに、１）リウマチ・膠原病などの免疫疾患、２）消化器がんを中心にした悪性腫瘍の2分野については、早期診断、標準的治療から最先端医療、リハビリに至るまでのすべてのオプションを備えた診療を展開したいと思います。

私は生物学的製剤の基礎的・臨床的研究、免疫疾患の治癒を目指しうる造血幹細胞移植療法を展開してまいりました。これら最先端医療の経験をこの別府の地で生かし発展させたいと思います。私どもの内科は、免疫・血液、循環器、内分泌・糖尿病、腫瘍の専門家を備えて活動をして参ります。そして別府病院の外科、整形外科、放射線科、麻酔科、慢性疾患診療部、検査室等の皆様のご協力、九大本院との連携によって「すべてのオプションを備えた免疫疾患、悪性腫瘍の診療」を提供して参りたいと思います。近隣の市民の皆様、医療機関の先生方のお役にたてるよう頑張る所存です。ご指導、ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

総看護師長就任のご挨拶

九州大学病院別府病院
看護室　総看護師長
岩谷　友子

平成25年4月1日より九州大学病院別府病院総看護師長として着任いたしました岩谷友子（いわやともこ）と申します。

別府は修学旅行の観光以来でまったく初めてといってよい状況です。私は、九州大学病院（以下、九大病院）福岡本院の医療連携センターで10年間地域医療連携の業務を行ってきました。九大病院で治療を終えた患者さんの退院後の生活を支援するために地域医療機関との情報共有や、在宅療養を継続される患者さんへの社会資源の活用を検討して支援する体制を整えるといった業務を行っていました。患者さんが住み慣れた地域で自ら望む医療を安心して受けられるように、高度先進医療を担う大学病院と、それぞれに特徴を持つ地域の医療機関とを有機的に連携させることを目的に取り組んできました。これらの業務の中で出会った多くの患者さんや多職種の皆さんとの交流による体験がとても大きな力になっております。

九州大学病院別府病院（以下、九大別府病院）は、平成25年度、三森病院長のリーダーシップのもと、『感謝・素直さ・根性』をモットーに地域医療への貢献を目指して新出発いたしました。伝統のある九大別府病院に新しい風が吹く予感がいたします。そのような中で地域に密着した九大別府病院の看護室は、大学病院としての高度医療の提供を推進するとともに、患者さんへ心のこもったあたたかいケアと安全で安心な医療の提供を行うために、看護師一人一人が専門職のプロであることを認識し、看護の質の向上に努めてまいります。

患者さんを中心としたチーム医療の中で、多職種間で認め合い必要とされる看護をめざして自らの役割を誠実に果たしていきたいと思っています。平成25年度新生九大別府病院が地域に必要とされる活動ができますように、これまで以上のご支援とご指導、ご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新任医療職員紹介

4～5月に採用となった職員の紹介を致します。
①出身県 ②所属病棟 ③趣味・特技等 ④自分の目標・目指している看護 ⑤この病院の良いところ、コメント等

免疫内科
宇都宮 勇 人

卒業大学: 九州大学、平成21年、九州大学第三内科
専門分野: リウマチ、膠原病
所　　属: 日本リウマチ学会会員
コメント: 専門分野に限らず、最善の医療を心がけます。

免疫内科
北 島 慶 子

卒業大学: 佐賀大学、平成23年、九州大学第三内科
専門分野: 糖尿病、内分泌
所　　属: 免疫・血液・代謝内科
コメント: 大分は初めてで、わからないことが多いですが、どうぞよろしくお願いいたします。
趣味 等PR: 映画鑑賞、旅行
別府に来たので温泉めぐりを趣味にしようと思っています。

放射線科
平 田 秀 成

卒業大学: 九州大学、平成19年卒、九州大学臨床放射線科
専門分野: 放射線治療
所　　属: 日本医学放射線学会放射線科認定医、第一種放射線取扱主任者、日本放射線腫瘍学会所属
コメント: がん診療で、お役に立てればと思います。よろしくお願いします。
趣味 等PR: コーヒーの過剰摂取には気を付けつつ頑張ります。

手術室
請 関 智 範

① 宮崎県
② 手術室
③ ジョギング、自転車
④ 患者さんが安心して手術を受けることができて、あたり前のように安全に手術を終えて病棟に帰ることができる、そういう手術室の環境をつくる、また維持していきます。
⑤ まだ来たばかりですが、施設内の自然が多く四季が感じられます。職員用の温泉があり、他科の職員間の関係が近いと感じます。

2階病棟
岩井中 良 子

① 大分県
② 2階病棟
③ 読書、フラワーアレンジメント
④ 患者さんが安心でき、安全な看護を実施できる看護を目指す。
⑤ たくさんの自然に囲まれ、景色が良い。患者さんを思いやり、看護をしている看護師さんがすばらしいと思いました。

4階病棟
河 野 愛 子

① 大分県
② 4階病棟
③ 散歩、読書
④ 優しく、穏やかな看護師になりたいです。
⑤ 敷地内に自然が多い。慣れないことも多いですが、頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

4階病棟
斉 藤 健 志

① 東京都
② 4階病棟
③ つり
④ 患者さんに慕われる看護師
⑤ 早く皆さんに顔と名前を覚えていただけるよう、精一杯頑張っていきますので、よろしくお願いします。

5階病棟
神 田 美由紀

① 大分県
② 5階病棟
③ 旅行と韓国ドラマ鑑賞
④ 人として心から寄り添える看護師になりたいと思います。
⑤ キャスト制度があるところ。自分の居場所となるよう頑張ります。これからご指導よろしくお願いします。

5階病棟
大 野 真 季

① 大分県
② 5階病棟
③ ドライブ
④ 患者さんに少しでも元気を与えられるような看護師になりたいです。
⑤ 医療者間でのコミュニケーションが多くとれており、情報の共有が出来ていると思いました。

外来
永 谷 哲 子

① 大分県
② 外来
③ 食べ歩き
④ 笑顔で元気にをモットーに患者さんや家族に寄り添っていける、安全な看護ができるよう心がけます。
⑤ アットホームな雰囲気で、緑豊かな環境の病院だと思いました。元気に頑張って働いていこうと思います。これからよろしくお願いします。

退　職　挨　拶

前九州大学病院別府病院長
現九州大学名誉教授
牧　野　直　樹

平成25年3月31日をもって定年退職することとなりました。平成11年に九州大学生体防御医学研究所（生医研）生気候学部門の教授を拝命し13年9か月間、教授として在職し研究と診療に努めました。平成13年度に研究所の改組により細胞機能制御学部門（老化制御学分野）と名称変更しました。平成15年度より国立大学の独立行政法人化にともない生医研附属病院は九州大学病院へ統合され、平成23年度からは別府地区の研究部門は生医研から完全に分離し九州大学病院の一部として九州大学病院別府病院へと組織変更いたしました。この間、九州大学病院副院長として７年間を病院の管理・運営に携わることができました。大学病院は法人化に伴い大きく変わり、病院経営に対する収益性、医療安全、研究成果などが厳しく問われる時代となりました。九州大学病院別府病院は整形外科の設置により幸いにも経営状態は改善の方向に向かっています。しかし、病院をとりまく環境は大きく変わっています。医療の進歩に伴う知識・技術の増加と細分化、加えて事務手続き・各種の会議など多くの業務に追われ、それにもまして感謝されることは少なくなり、患者さんの要求も多くなってきているのが実感です。そのため、医師の負担は仕事の量・質とも多くなり、複雑化してきています。当院で医療事故が発生しましたが、私は医療事故の発生の背景には少なからず、このような医療環境の変化に対して充分な対応が追いついてないと思われます。職場での情報の共有、コミュニケーションの大切さが重要と思います。単に知識を積み重ねてそれぞれの技術に熟練することも大切ですが、患者さんを思いやる心を常に持っていただきたいと思います。

当院は昭和6年に九州大学温泉治療学研究所の診療部門として発足して以来、80年が経過しました。明日の日本の医療を担うためには臨床と研究の両立は欠かせないと思われます。更には、高度の先端医療を開発することも必要と思います。最後になりますが、在任中は多くの医師や医療スタッフの皆さん、研究を支えて下さった皆さんに深く感謝申し上げます。今後、九州大学病院別府病院の益々のご発展をお祈り申し上げます。最後に長い間楽しい生活を送らせていただき、本当にありがとうございました。

牧野教授退職記念植樹

牧野前病院長、一宮前総看護師長
退職記念撮影

病院機能評価Ver.6.0の認定について

九州大学病院別府病院は、平成20年2月18日付けで認定された（財）日本医療機能評価機構の病院機能評価Ver.5.0が平成25年2月17日に認定期間の終了を迎えるため、病院機能評価Ver.6.0を平成24年11月6～8日に受審した結果、平成25年2月1日付けで認定されました。

病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価するものです。評価調査者（サーベイヤー）が中立・公平な立場にたって、所定の評価項目に沿って病院の活動状況を評価します。評価の結果明らかになった課題に対し、病院が改善に取り組むことで、医療の質向上が図られます。

受審に際しては、１年以上前から病院機能評価検討ワーキンググループ作業部会を立ち上げ、各評価事項の確認・問題改善等について、病院一丸となって取り組むことにより、今回の認定更新となりました。今後とも、患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指して参ります。

認 定 期 間：平成25年2月18日～平成30年2月17日（５年間）
認定証発行日：平成25年2月1日
審査体制区分：２（Ver.6.0）
認 定 番 号：認定第JC1438-2号

（文責：事務長補佐　小野）

認　定　証
Certificate of Accreditation

認定第JC1438-2号
Accreditation Number

審査体制区分：2
（ver.6.0）
Assessment system division 2

病院名
Hospital Name

九州大学病院別府病院　殿
Kyushu University Beppu Hospital

貴病院が日本医療機能評価機構の定める認定基準を達成していることを証する
This is to certify that the above hospital has demonstrated satisfactory compliance with the applicable JCQHC accreditation standards.

認定期間：2013年2月18日～2018年2月17日
February 18,2013-February 17,2016

発行日：2013年2月1日
Issue Date : February 1,2013

公益財団法人 日本医療機能評価機構　代表理事　理事長　井原　哲夫
Japan Council for Quality Health Care　Chairman of the Board　Tetsuo Ihara

九州大学病院別府病院　病院機能評価Ver.6.0認定証

電子カルテを導入しました。

本年1月1日から九州大学病院別府病院では電子カルテシステムを導入致しました。

昨年末まではオーダリングシステムと紙のカルテでの診療をおこなってまいりましたが、1月から電子カルテシステムに移行しております。電子カルテシステムを導入することにより、患者さんの診療情報を一元化でき、各医療スタッフが情報を共有して、より的確で迅速な診療が可能となります。病院内の各端末から検査や画像などの必要な情報を閲覧・記載し、紙のカルテにおける判読不能な文字によるトラブルもなくなることで、従来以上に安全に配慮した医療を提供することが可能になるものと期待されます。

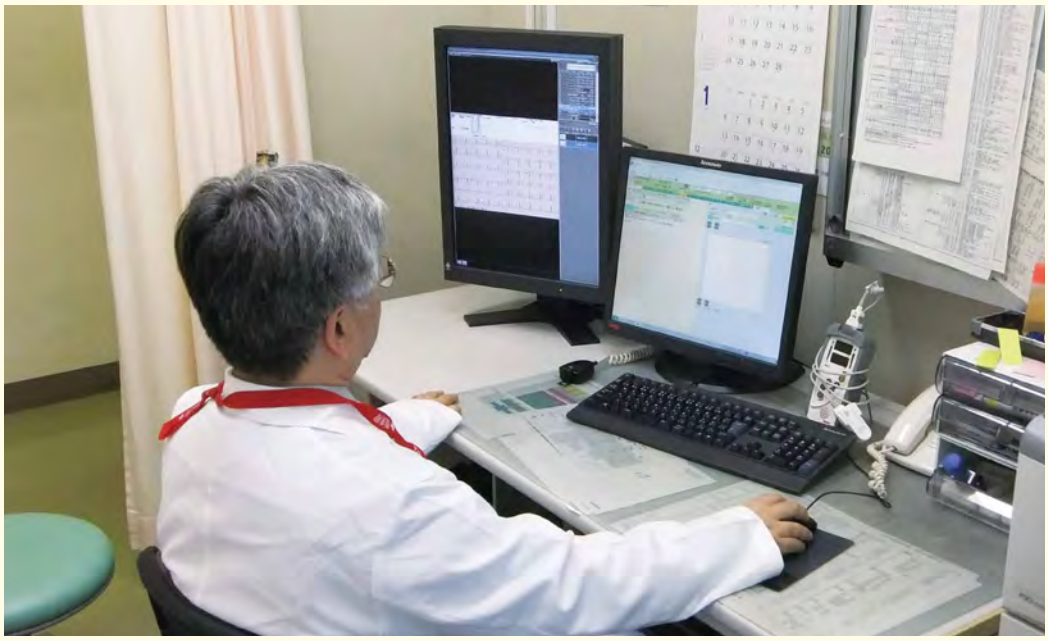
すでに別府市内の多くの医療機関においても導入が進んでいる電子カルテですが、紙のカルテでは得られない多くの利便性があるものの、停電やシステム障害の時には利用できないばかりではなく、病院全体の業務に支障が生じるなどの問題点もあります。

医療情報センター(Medical Information Center; MIC)分室では、電子カルテ導入にあたり、システム障害等の問題に対応していくとともに、セキュリティー対策をこれまで以上に万全にすべく努力しております。

さらに、5月からは、別府市内の医療ネットワークである「ゆけむり医療ネット」に参加しております。患者さんの同意のもとに必要な情報を紹介元の医療機関と共有することで地域の診療所・病院間の連携をさらに深めていきたいと考えております。

最後に、電子カルテシステムへの移行、「ゆけむり医療ネット」への参加にあたり、御尽力いただきました関係各位の皆さんに、この場をお借りして御礼申し上げます。

（文責：医療情報センター（MIC）分室　有田、原田）



電子カルテシステム完全移行（外来診察室）

病院の理念・基本方針

理　念　患者さんに満足され、医療人も満足する医療の提供ができる病院を目指します。

基本方針
- ◆地域医療との連携及び地域医療への貢献の推進
- ◆全人的医療が可能な医療人の養成
- ◆国際化の推進
- ◆プライマリ・ケア診療の充実
- ◆専門医療の高度化を目指した医学研究の推進
- ◆生活の質が向上できる医療の提供

患者さんの権利と責務

私どもは患者さんの権利を守り、病院の理念に基づいた、公平で良質な医療を提供することを目指します。

患者さんの権利

1．個人としての尊厳、人権が尊重されます。
2．良質で適切な医療を平等に受ける権利があります。
3．自分の状態や医療行為について十分理解できるまで説明を受ける権利があります。
4．上記の説明を受けた上で、自由意志に基づき医療行為を選択・決定する権利があります。
5．診断や治療方針について他に意見を求めたい場合は、セカンドオピニオン制度を利用することができます。
6．自分の診療に関する記録など情報を得る権利があります。
7．プライバシーが尊重され、個人情報が保護される権利があります。

患者さんへのお願い

1．ご自身の健康状態及び変化は、速やかに正確にお伝えください。
2．検査や治療などの医療行為は、十分な理解と合意の上で受けてください。
3．全ての患者さんが快適な環境で適切な医療を受けることができるように、他の患者さんのご迷惑にならないようご協力ください。
4．本院は、教育・研究病院であり、医療専門職の教育や新しい診断・治療法を開発するための研究を行っています。ご理解とご協力をお願いします。

お知らせ

駐車場の整備について

当院、正門を上がって右側の駐車場ですが、以前は未舗装のため、雨の日に水たまりができるなど、大変ご迷惑をおかけいたしましたが、平成25年3月に舗装工事が完了し、53台分の駐車スペースを確保することができました。

工事中の期間は大変ご不便をおかけいたしました。現在は、患者さんもご利用になり、余裕をもって駐車いただけております。

当院は、今後も、患者さんが利用しやすい快適な環境づくりを心がけて参りますので、よろしくお願いいたします。

（文責：施設係主任　佐藤）

九州大学病院別府病院　外来診療案内

（平成25年6月1日現在）

科名		診療区分	月	火	水	木	金
内科	免疫・血液代謝内科	リウマチ膠原病	堀内孝彦 平瀬伸尚 有田好之	堀内孝彦 生山祥一郎 有田好之 塩沢俊一	生山祥一郎 平瀬伸尚 合田英明 塩沢俊一	病棟回診日	堀内孝彦 生山祥一郎 平瀬伸尚 有田好之
		内分泌・糖尿病	有田好之	生山祥一郎 有田好之	生山祥一郎		生山祥一郎
		血液病	平瀬伸尚	――	平瀬伸尚		平瀬伸尚
		骨粗しょう症	――	生山祥一郎	生山祥一郎		生山祥一郎
		消化器・膵疾患	有田好之	有田好之	――		有田好之
	循環・呼吸老年病内科	循環器・呼吸器	樋口義洋 小柳雅孔	樋口義洋	樋口義洋	樋口義洋(第2,4) 小柳雅孔(第1,3,5)	小柳雅孔
		老年病	――	前田豊樹	前田豊樹	前田豊樹	――
		睡眠時無呼吸外来	小柳雅孔	樋口義洋	樋口義洋	樋口義洋(第2,4) 小柳雅孔(第1,3,5)	小柳雅孔
		禁煙外来(全予約制)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
外科		一般・消化管	三森功士 杉町圭史 主藤朝也 江口英利	手術日	三森功士 杉町圭史 主藤朝也 江口英利	手術日	三森功士 杉町圭史 主藤朝也 江口英利
		肝・胆・膵	杉町圭史 江口英利		杉町圭史 江口英利		杉町圭史 江口英利
		乳腺	三森功士 新田吉陽		三森功士 新田吉陽		三森功士 新田吉陽
		肛門	主藤朝也		主藤朝也		主藤朝也
		セカンドオピニオン	――		要予約(第1,3)午後3:00～		――
麻酔科		疼痛外来(全予約制)	手術日	手術日	手術日	手術日	吉武慎一郎 手術日
整形外科		脊椎外科	手術日	土井俊郎 東野修 樽角清志	手術日	土井俊郎 東野修 樽角清志	手術日
放射線科		放射線治療	渥美和重	渥美和重	――	渥美和重	――
		放射線画像診断	平川雅和	坂本勝美	平川雅和	平川雅和	平川雅和

初診・再診の受付時間 8:30～12:00

整形一初診 8:30～10:30
放射線治療一初診 8:30～11:00　※但し土日、祝祭日は休診(急患は除く)

地域医療連携室より　〈問い合わせ先のご案内〉

◆ CT・MR・内視鏡検査のご依頼 ◆

放射線科受付 0977-27-1722(直通)

・検査依頼は、電話にて受け付けております。
依頼検査優先時間帯を設けています。
・結果は、CDデータ、報告書とともに、ご依頼いただきました先生方へ迅速にお返事いたします。

◆ 放射線治療のご依頼 ◆

地域医療連携室 0120-272-518(専用)
0977-27-2055

・乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する緩和治療、その他の悪性腫瘍についてはご相談ください。
・放射線治療の診療は、事前に連絡をいただければ、待ち時間が少なくなるよう配慮させていただきます。

その他、外来・入院に関するお問い合わせ

月～金　8:30～17:00　0120-272-518(専用)
TEL:0977-27-2055(直通)　FAX:0977-27-3008(24時間受信可)

九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital
〒874-0838　別府市大字鶴見字鶴見原 4546 番地
代表　TEL 0977-27-1600
URL　http://www.beppu.hosp.kyushu-u.ac.jp/